

2019年 6月吉日

鳴門生徒指導学会会員 各位

鳴門生徒指導学会第29回大会のご案内（第2報） 日本生徒指導学会第20回記念鳴門大会のご案内（第2報）

皆さまにはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

今年度の鳴門生徒指導学会について第2報をお知らせいたします。過日にお知らせしたように、今年度は日本生徒指導学会との共催で鳴門教育大学において開催いたします。詳しくは日本生徒指導学会ホームページ (<http://www.jagc.jp/JAGC.html>) をご覧ください。皆さまのお越しを心からお待ちしております。

なお、2日目の今大会終了後に鳴教心友会（同窓会）も開催いたします。合わせてご参加くださるようお願い申し上げます。

鳴門生徒指導学会会長 葛西 真記子
日本生徒指導学会第20回記念大会実行委員長 山下 一夫

大会テーマ：つながりを大切にする生徒指導 ―日本生徒指導学会の役割―

1. 日程・会場等

- 日曜：2019年8月8日（木）・9日（金）
- 会場：鳴門教育大学・講堂・講義棟

2. 主催

- 日本生徒指導学会

3. 共催

日本生徒指導学会四国地区研究会、鳴門生徒指導学会

4. 後援

- 文部科学省、国立教育政策研究所
- 徳島県、香川県、愛媛県、高知県の四国4県教育委員会
- 徳島市教育委員会、鳴門市教育委員会
- 日本PTA全国協議会

5. 参加対象者

日本生徒指導学会会員、日本生徒指導学会四国地区研究会会員、鳴門生徒指導学会会員、大学教員、大学院生・学部生、教育関係者（幼・小・中・高等学校教員、養護教諭、教育行政関係者等）、生徒指導に関わる専門機関職員・専門家 等

6. 大会参加費

大会参加費 (予約・当日参加)	1 日のみ		両日参加	
	一般	学生・大学院生	一般	学生・大学院生
	2,000 円	1,000 円	3,000 円	2,000 円
情報交換会費 (懇親会)	会員・一般		学生・大学院生	
	4,000 円		2,000 円	

※ 大会参加費は、予約参加・当日参加ともに同じ金額です。

※ 学会期間中の昼食には、大学会館 1 階の食堂をご利用いただけます。

※ 大会当日の参加申込みを受付いたします。ただし、ワークショップ、フォーラムⅠ・Ⅱ、鳴門生徒指導学会企画事例発表への参加は、事前に参加を申込まれた方を優先します。

7. 大会スケジュール

○8月8日(木)

9:00	受付
9:30	開会行事
9:50	公開講演・教育・文化フォーラム ・永山賀久氏（文部科学省初等 中等教育局長） ・森田洋司氏（日本生徒指導学会会 長）
12:00	受付・昼休憩・昼食 理事会
13:15	記念大会シンポジウム 「日本生徒指導学会の役割」
16:45	総会 学会賞授与・伝達式
17:45	情報交換会

○8月9日(金)

9:00	受付
9:30	○自由研究発表 ○課題研究ラウンドテーブル ○事例発表(鳴門生徒指導学会企画)
12:00	昼休憩・昼食 機関誌編集委員会
13:15	フォーラムとワークショップ ■ フォーラムⅠ 「ICT ソリューションを活用した生 徒指導支援の進め方」 ■ フォーラムⅡ(鳴門教育大学 BP プ ロジェクトとの合同企画) 「いじめ防止対策推進法のこれまでと これから」 ■ ワークショップ(学校心理士 A ポ イント研修を兼ねています) 「多職種からなるチーム支援の効果的 なあり方」

8. 大会プログラム

【1日目 8月8日(木) 午前の部(9:30~12:00) 会場:講堂】

(1) 第45回教育・文化フォーラム/記念大会公開講演

- 主催:鳴門教育大学
- 共催・協賛:鳴門市教育委員会 日本生徒指導学会
- 講師:永山賀久(文部科学省初等中等教育局局長)
森田洋司(日本生徒指導学会会長・鳴門教育大学特任教授)
- 司会・進行:阪根健二(鳴門教育大学・地域連携センター所長)
- 挨拶:山下一夫(鳴門教育大学学長)
安田 修(鳴門市教育委員会教育長)
- 参加費:無料

【1日目 8月8日(木) 午後の部(13:15~17:30) 会場:講義棟】

(2) 記念大会シンポジウム(13:15~16:30 教室:2階・B207室)

- 主催:日本生徒指導学会
- テーマ:「日本生徒指導学会の役割—これまでの歩みと課題、これからの方向について」
- 話題提供者
森田洋司(日本生徒指導学会会長・鳴門教育大学特任教授)
八並光俊(日本生徒指導学会副会長・東京理科大学教授)
山下一夫(日本生徒指導学会常任理事・鳴門教育大学学長)
- 指定討論者
桶谷 守(日本生徒指導学会常任理事・京都教育大学名誉教授)
七條正典(日本生徒指導学会副会長・高松大学教授)
- 司会
森嶋昭伸(元国立教育政策研究所総括研究官)

(3) 総会および学会賞授与・伝達式(16:45~17:30 教室:2階・B207室)

(4) 情報交換会・懇親会(17:45~19:15)

会場:鳴門教育大学 大学会館2階・食堂

【2日目 8月9日(金) 午前の部(9:30~12:00) 会場:講義棟】

(1) 自由研究発表(9:30~12:00)

- 第1分科会〔講義棟2階・B202教室〕司会:桶谷 守(京都教育大学名誉教授)
 - 教師による「児童間・生徒間理解」の再定位
中村映子(筑波大学大学院/中央学院大学)
 - いじめの内的要因・外的要因とプログラムを活用した予防方法—先行研究のレビューとKiVaプログラムの分析に基づいて—
日野陽平(東京学芸大学大学院)
 - いじめ事象に関わる子どもの心理状態に関する基礎的研究
千原雅代(天理大学)

- 生徒個々がつながる集団形成の意義を再考するー規範の生成過程を事例にー
中尾豊喜（大阪体育大学）
- 高校生の規範意識と主観的健康観との関連についてー全日制と定時制との差に焦点を当ててー
岡田倫代（高知大学大学院）
- 第2分科会〔講義棟2階・B203 教室〕 司会；相馬誠一（東京家政大学）
 - 小学生のメンタルヘルスに関する研究
石飛美香（東京家政大学大学院）
 - 中学生の学校不適応とバウムテスト
北田祐実（所沢市教育委員会）・相馬誠一（東京家政大学）
 - 人間関係にみる協働的描画表現活動による児童への教育効果に関する一考察
松岡敬興（山口大学）
 - 適応指導教室におけるグループ・アプローチを用いた実践的研究
宮内更紗（ふじみ野市さわやか相談員）・相馬誠一（東京家政大学）
 - 定時制高校生の構成的グループエンカウンターの効果
坂下朋子（東京家政大学大学院）
- 第3分科会〔講義棟2階・B205 教室〕 司会；
若田 透（大阪府枚方市立第一中学校）
 - 教師が担う生徒指導の力量についての基礎的研究（1）ー中学校教員に対する質的調査の結果からー
新井 肇（関西外国語大学）・中川靖彦（舞鶴市立朝来小学校）
 - 教師が担う生徒指導の力量についての基礎的研究（2）ー小学校教員に対する質的調査の結果からー
中川靖彦（舞鶴市立朝来小学校）・新井 肇（関西外国語大学）
 - 日本におけるゼロ・トレランス理念に基づく生徒指導の有効性と課題についてー生徒への質問紙調査からー
井 陽介（立正大学）
 - 小学校から中学校につなぐ生徒指導Ⅶー小学校における「段階的指導」実践を深めて見えてきたことー
池田真弘（大阪市立矢田東小学校）・笠谷和弘（大阪府教育委員会事務局生活指導サポートセンター）
 - 日米比較を通して見る生徒懲戒制度
片山紀子（京都教育大学）
- 第4分科会〔講義棟2階・B206 教室〕 司会；山口 満（筑波大学・びわこ成蹊スポーツ大学名誉教授）
 - ”生き方・在り方”を見つめ、自己教育力を高める年間指導Ⅱー子どもの自律性伸張と開発的生徒指導の展開ー
柳瀬啓史（高知市立小学校）
 - 「育てる教育相談」を基盤としたキャリア教育実践ーキャリアファイルを活用したB 中の実践ー
廣岡千絵（神戸市総合教育センター教育相談室）
 - 中学生の学級担任に対する学級モラルの中2から中3での推移ー学級担任のリーダーシップと公正感を通してー

藤原則之（松戸市立和名ヶ谷中学校）

- 生徒指導情報分析とデジタルレポートによる「学びに向かう力」の形成効果
八並光俊（東京理科大学）

- 学級集団と児童理解のためのアセスメントツール（C-SCT）の開発
石井雄大（上越教育大学大学院）・高橋知己（上越教育大学）

(2) 課題研究ラウンドテーブル（9：30～12：00）

1) 課題研究Ⅰ「生徒指導とキャリア教育」〔教室：講義棟1階・B102室〕

- 趣旨：キャリア教育について各話題提供者から問題提起される諸点を、生徒指導の観点から整理し、話題提供者と会場の参加者全員で今後の新時代に向けた生徒指導の在り方を検討します。
- 話題提供者
 - ①「キャリア・パスポート」導入による生徒指導上の意義と課題について
谷 健年（兵庫県教育委員会義務教育課初等・中学校教育班 指導主事）
 - ②教育課程に内在化させたキャリア教育の展開による生徒指導上の意義
葉山みどり（京都市教育委員会京都まなびの街生き方探究館企画推進室指導主事・文部科学省「平成30年度<キャリア・パスポート>導入に向けた調査研究協力者会議」委員）
 - ③地域経済並びに人口流出・高齢化等の課題を抱えた地域におけるキャリア教育について
戎井 崇（高知県立須崎総合高等学校教員・文部科学省「キャリア・パスポート」導入に向けた調査研究協力者会議委員）
- 司会者：宮古紀宏（国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター主任研究官・日本生徒指導学会生徒指導基盤研究開発推進委員会委員）

2) 課題研究Ⅱ「働き方改革を組み込みつつ児童生徒に寄り添った生徒指導の展開と一層の充実をどう図るか」〔教室：講義棟1階・B103室〕

- 趣旨：「働き方改革」という日本社会の動向のなかで、学校現場での教師の多忙化に対応するための、制度上、あるいは運用上の工夫がさまざまに講じられるようになってきている。一方、児童生徒が抱える課題は多様化し、複雑化し、あるいは潜在化する傾向すらうかがえる。加えて、一人一人が抱える課題に丁寧に対応し生徒指導をより一層充実させるためには、更なる時間と労力を必要とする状況下にもある。この課題研究では、児童生徒の現状に鑑みつつ、働き方改革と生徒指導の一層の充実というパラドックスに、どう対処し、どのような改革が必要なのかについて検討します。
- 話題提供者
 - ①「教職」と「生徒指導」の視点から見た教師の意識
高橋知己（上越教育大学教授）
 - ②「創発性」の基盤となる「同僚性」「協働性」を生む職場づくり
高橋典久（岡山大学准教授）
- 指定討論者
佐古秀一（鳴門教育大学理事・副学長）
- 司会者：阪根健二（鳴門教育大学・地域連携センター所長）

(3) 事例発表・課題研究 (9:30～12:00 教室：講義棟2階・B207 室)

■ 事例発表

いじめのトラウマに苦しむ高校生との面接過程—学校教育相談に認知行動療法を取り入れた2年4か月の取組—

桐木玉美 (臨床心理士・公認心理師、元愛媛県立高等学校教諭)

司 会 吉井健治 (鳴門教育大学教授)

コメンテーター 若井貴史 (長岡病院心理課係長、大阪経済大学・花園大学・立命館大学非常勤講師)

■ 課題研究

趣旨：事例発表終了後に、参加者の皆さんとともに、生徒指導における事例研究のあり方や今後の方向性などについて意見交換し、考えます。

テーマ：生徒指導における事例研究法

話題提供者

山下一夫 (鳴門教育大学学長、鳴門生徒指導学会顧問)

板東郁美 (徳島県鳴門市堀江北小学校教頭)

司会者：吉井健治 (鳴門教育大学教授)

【8月9日(金) 午後の部 (13:15～15:45) 会場：講義棟】

(4) フォーラム

1) フォーラム I (教室：講義棟2階・B205 室)

■ テーマ：「ICT ソリューションを活用した生徒指導支援の進め方～生徒指導現場の改善に向けて～」

■ 趣旨：学校教育の現場には、ICT 教育やプログラミング教育などが導入され、近年では、society 5.0 に絡み EdTech という名称も登場し、教育における AI やビッグデータ等の様々な新しいテクノロジーを活用したあらゆる取組が構想されつつあります。生徒指導に係わっても EdTech を使うことで、指導の質の向上と教師の負担の軽減を両立させ、より良い教育を実現したり、人間関係や学習面など学校生活上の悩み等を見逃さずに発見し、必要に応じて、きめ細かい支援が受けられる学習環境を実現することもめざされています。こうした動向を受けて各話題提供者から問題提起される諸点について、今後の新時代に向けた生徒指導の在り方や方向性を検討します。

■ 話題提供者

①「ICT を活用した児童生徒並びに教員支援に関わる国際的な動向について」
草野純一 (文部科学省高等教育局高等教育企画課課長補佐)

②「FEELBOT を活用した生徒指導・学級経営・学校経営の支援ツールの効果と課題について」

武田國宏 (徳島県上板町立高志小学校長)・久我直人 (鳴門教育大学教授)

③「QU テストを活用した生徒指導の適切な進め方と課題」
滝 充 (国立教育政策研究所客員研究員)

④「教育委員会が開発した学級経営支援ツール「くらまね」の効用と今後の課題について」

- 大橋忠司（同志社大学教授）・井上浩史（京都市教育委員会生徒指導課長）
⑤「〈シグマ〉を活用した生徒指導の進め方」
八並光俊（東京理科大学教授）

- 指定討論者
竹内和雄（兵庫県立大学准教授）
- 総合司会
森田洋司（鳴門教育大学特任教授）

2) フォーラムⅡ〔教室：講義棟2階・B206室〕

- テーマ：「いじめ防止対策推進法のこれまでとこれから」
- 趣 旨：2015（平成27）年度から実施している「B P（Bullying Prevention：いじめ防止支援）プロジェクト」は、教員養成4大学（宮城教育大学・上越教育大学・鳴門教育大学・福岡教育大学）が、それぞれ特色あるいじめ問題の研究を行う協働参加型の事業であり、その成果を全国に発信することにより、いじめ防止に向けた支援を拡大しています。

鳴門教育大学では、現代事情に即したいじめ問題の対策・強化に力を入れており、年2回の研修会を徳島（2018年度第1回大会は沖縄）で開催してきた。今回、日本生徒指導学会（会長：森田洋司鳴門教育大学特任教授）第20回記念鳴門大会に合わせ、合同企画としてフォーラム「いじめ防止対策推進法のこれまでとこれから」を開催し、法制定以降のいじめ防止対策の成果と課題について考えます。

- 話題提供者
 - ① 新井 肇（関西外国語大学教授）
 - ② 高橋知己（上越教育大学教授）
- 指定討論者
 - 佐藤秀行（公益社団法人日本PTA全国協議会常務理事）
 - 安西政和（徳島県教育委員会人権教育課いじめ問題等対策室長）
- コーディネーター
阿形恒秀（鳴門教育大学教授）

3) ワークショップ〔教室：講義棟2階・B203室〕

- 講師 野田正人（立命館大学教授）
- テーマ 「多職種からなるチーム支援の効果的なあり方」

※ このワークショップは、学校心理士Aポイント研修会を兼ねています。

◎ 大会に関する問い合わせ先
鳴門生徒指導学会事務局
〒772-8502
徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
鳴門教育大学 心理臨床コース（臨床心理学領域）内
FAX 088-687-6290
E-mail nagc.naruto@gmail.com